

令和3年Y8サミット創快横手市議会 実践報告・提案要旨

■ 期 日 令和3年11月10日（水）

■ 「横手市中学校創快宣言」に基づく各校の実践報告の順序

順番	学校名	議席番号	議員名	頁
1	十文字中学校	21番	高橋英佑 議員	3
		22番	糸井遥斗 議員	
		23番	梅津茉歩 議員	
2	横手清陵学院中学校	10番	鎌田涉吾 議員	3
		3番	藤田萌々香 議員	
		11番	太田陽朗 議員	
3	平鹿中学校	5番	貴俵明凜 議員	3
		6番	戸田 奏 議員	
		7番	清水滝之進 議員	
4	横手北中学校	12番	竹原志信 議員	3
		13番	高橋優太 議員	
		14番	島田果凜 議員	
5	横手明峰中学校	15番	酒井玲旺 議員	4
		16番	最上留伊 議員	
		17番	谷口莉子 議員	
6	横手南中学校	2番	鶴田琉太郎 議員	4
		8番	藤井健佑 議員	
		9番	加藤望花 議員	
7	増田中学校	18番	田村日和 議員	4
		19番	珍田凌太郎 議員	
		20番	黒坂翔汰 議員	

■ Y 8から横手市への提案 の順序

順番	学校名	議席番号	議員名	頁
1	増田中学校	1 8 番	田 村 日 和 議員	5
2	平鹿中学校	5 番	貴 俵 明 凜 議員	6
3	十文字中学校	2 1 番	高 橋 英 佑 議員	7

■ 「横手市中学校創快宣言」に基づく各校の実践報告

1. 十文字中学校



- 21番 高橋英佑 議員
- 22番 糸井遥斗 議員
- 23番 梅津茉歩 議員

【つながり】を大切にした十文字中学校の取組について

2. 横手清陵学院中学校



- 10番 鎌田涉吾 議員
- 3番 藤田萌々香 議員
- 11番 太田陽朗 議員

互いに認め合い、一人一人が活躍するための取組について

3. 平鹿中学校



- 5番 貴俵明凜 議員
- 6番 戸田奏 議員
- 7番 清水滝之進 議員

人と人とのつながりを深める平鹿中の取組について

4. 横手北中学校



- 12番 竹原志信 議員
- 13番 高橋優太 議員
- 14番 島田果凜 議員

【あいさつ】【つながり】を意識した取組「全校クリーンアップ・あいさつ運動～北中プライド・地域への誇り～」について

5. 横手明峰中学校



15番	酒井	玲旺	議員
16番	最上	留伊	議員
17番	谷口	莉子	議員

地域と共に歩む生徒会活動～学校創立10年目の取組～について

6. 横手南中学校



2番	鶴田	琉太郎	議員
8番	藤井	健佑	議員
9番	加藤	望花	議員

校歌『ひとすじの道』と進むべき51年目の新たな南中について

7. 増田中学校



18番	田村	日和	議員
19番	珍田	凌太郎	議員
20番	黒坂	翔汰	議員

『地域と共にある学校』を目指す私たちの取組について

■ Y8から横手市への提案～各校の取組を地域に役立てるために～

1. 増田中学校

〔説明者代表〕 増田中学校 18番 田村日和 議員

「3C (Connect with the Community to Contribute)活動」の拡充について

横手市の中学生が、それぞれの地元の地域貢献をするために、地域とのつながりを大切にしていけることをめざして活動する「3C (Connect with the Community to Contribute) 活動」の拡充に向けてを提案する。

1、地域コーディネーターの拡充と活用の推進

増田中学校は、横手市中学校創快宣言の【つながり】に基づいて、学級、学年を超えたつながりを大事にする取組を進めてきた。今年度は、コミュニティ・スクールのモデル校となり、地域の方々とのつながりを深めることによって、まちづくりに関わる活動を今まで以上に幅広く展開しており、校内だけではなく地域の方々とのつながる機会を多く持つことができた。地区交流センターをはじめ、商店街、企業など多くの機関や人とつながることによって、私たちが取り組みたいと考えたことが実現でき、さらに地域の役にも立つことができたのではないかと感じている。

令和4年度からは、市全域でコミュニティ・スクールの取組が始まると伺っている。地域とつながる取組をさらに推し進めていくために、地域コーディネーターの拡充と活用の推進をしていただきたい。中学生が社会とさらにつながることができ、各地区において自分の住む地域に貢献することで市全体の活性化につながるのではないかと考える。

また、授業や校外活動を通して、増田地域には私たちが思っている以上に魅力ある素材が多くあること、その素材を守り伝えようとする方々や、地域を盛り上げようと様々な企画をしている方がいることにも気付くことができた。

一方で、地域を支える多くの方々が高齢であることや、魅力ある素材があるにも関わらず、他の地域では知名度がないものもあり、伝統の継承や産業振興などの面で大きな課題があることも分かってきた。これらの課題の解決のためには、自分たち中学生も関わっていく必要があることを強く感じた。これからは私たちも企画段階から参画していくことはできないだろうか。運営面にも携わることができれば、地域のよさを再認識し、今まで以上にアピールできるのではないかと考える。何より、幅広い世代が交流することで地域が活気づくのではないかと考える。

Y8サミットの話合いの中で、地域に貢献したいという思いはあっても、それを私たちの力だけで実現することは困難であることを知った。中学生が地域の方々の協力をいただき、地域のために活動することで地域を盛り上げていけるよう私たち中学生が地域に入っていきやすい仕組みづくりと、学校と地域の様々な組織がつながり合うことが必要不可欠だと考える。

2. 平鹿中学校 横手南中学校 横手明峰中学校

〔説明者代表〕 平鹿中学校 5番 貴 俵 明 凛 議員

認め合い・YOKOTE拡大バージョン～横手のよさ・魅力を発信！～
について

横手市中学校創快宣言の【認め合い】や【感謝】に基づいて活動してきたことを、横手市のよさをPRする活動に発展させることをめざし、「認め合い・YOKOTE拡大バージョン～横手のよさ・魅力を発信！～」を提案する。

1. 横手市の魅力発信に対する中学生の関わり

創快宣言に基づいたこれまでの活動を通して、互いのよさを認め合うこと、そしてそれを伝え合うことで互いのよさや個性が生かされること、人と人とのつながりも深くなることを実感してきた。この活動を校内だけではなく、地域のために役立てたいと考え、提案するものである。

横手市のよさや魅力は、市報、よこてfun通信、市のホームページ、かまくらFM、よこてれびなどによって発信されているが、現在、その成果や課題としてはどのようなことがあげられているのか伺う。

各校で取り組んできたことを生かし、地域のために、私たちが横手市のよさや魅力を発信することを提案する。具体的には、各校がそれぞれの地域のよさや魅力をPRする動画を作成したいと考えている。伝統行事や観光名所などの知名度の高いものはもちろんのこと、住んでいるからこそ感じるよさ、地域の方々が努力して開発を進めているものなど、それぞれの地域のよさや魅力を発信したい。それを、市のホームページに掲載したり、市報にQRコードを掲載したりするなど、市のために活用していただくことはできないか。

また、動画以外でも、市の行事やイベント、生活の中などで中学生が感じた横手市のよさを各校で集め、横手市のSNSを活用した情報発信の中で、中学生が発信するコーナーなどをつくっていただけないか。

これらの発信にふれることで、横手に来てみたいと考える方々が増え、集客につながると考える。また、私たち中学生を含めた市民にとっては、当たり前すぎて意識していなかったことが、実は横手市のよさや魅力であるという新たな気付きにつながり、そしてその気付きが、ふるさと横手を愛おしく、誇らしく思うことにもつながっていくものと考えられる。

3. 十文字中学校 横手北中学校 横手清陵学院中学校

〔説明者代表〕 十文字中学校 21番 高橋英佑 議員

「Y8発！横手を元気にキャンペーン」の実施について

横手市中学校創快宣言の【あいさつ】や【感謝】を基に、各校が実践してきたことをY8の全中学校が合同で行う活動、さらには横手市全体に広げていく活動である「Y8発！横手を元気にキャンペーン」として提案する。

1、「横手愛グリーティングDAY」の設定

各校では、創快な学校生活をつくるためにあいさつ運動に取り組んできた。この取組を小中学校合同の運動として実施することにより、小・中学校の連携が広がり、あいさつの向上や関わり合いの面での効果が表れてきている。この運動で得た実感や成果を、学校の枠を超えて、地域を巻きこんだ活動として市全体に波及させるため、横手市を元気にする「横手愛グリーティングDAY」を設定するという提案である。

このあいさつ運動は小・中学生に限らず、地域住民・市全体を巻き込んだ活動としたい。市民があいさつの大切さに目を向け、意識して明るいあいさつを交わし合うことを通して、市民としてのつながりを感じ合うきっかけとなる日にしていきたい。そのためには、あいさつ運動を行う範囲を広げていく必要があるが、私たち中学生が直接お願いすることの難しい企業や様々な機関への広報、また、地域の方と共にあいさつ運動を行える場の提供にご協力いただきたい。

2、「横手愛クリーンアップDAY」の設定

各校で行ってきたクリーンアップ活動をY8の全中学校で一斉に行い、さらに地域の方々と協働して取り組むことのできる活動にするという提案である。各校のクリーンアップ活動だけでなく、地域の大人たちと協働して取り組む必要があると考える。あいさつ運動と同様に、「横手愛クリーンアップDAY」を設定し、小・中学生全員で通学前や通学途中などに自分が可能な方法でクリーンアップをすることを提案する。また、地域住民、市内企業で働いている方々などにも協力を呼びかけ、市民全員で活動する日を設定するという取組を進めてはどうか。

そのために、中学生では声を届けることのできない企業、各種機関への広報、また、ラジオや回覧板等で協力依頼を地域に発信していただきたい。コロナ禍で伝統行事や様々なイベントが中止となり、市民が共に活動する機会が減っている中で、改めて市民が協働してつながりを強めていくきっかけにもなると考える。

各校で取り組んできたことを学校同士が協働で行ったり、地域と協働したりすることで、少しでも市民に元気を届け、活気のあるまちづくりの力になれるのではないかと考える。